

大学の世界展開力強化事業（平成25年度採択）事後評価結果

大 学 名	筑波大学
整理番号	2
事 業 名	アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
(コメント)	<p>本プログラムは、ASEAN 地域の多くの大学と広く連携し ASEAN 及び日本人学生が共に学ぶことにより、地球規模の課題に取り組むことのできる国際環境適応力を備えた専門性の高いグローバルリーダー人材の育成を目的に実施されたものである。</p> <p>学生交流については、ASEAN から多くの学生を受け入れてきた経験に基づき、多くの相手大学からそれぞれ少数の学生を幅広い分野で受け入れたことは、質保証、事業の継続性及び将来のネットワーク構築等の観点から高く評価できる。また、日本人学生の留学前準備を支援する体制を細やかに整備した一方で、受入学生に対しても学習面・生活面ともに配慮の行き届いたサポートが成されていた。学部レベルの交換留学生を対象とする英語による多分野科目群（JTP）がプログラム開始以前から開設され、平成 25 年度に導入した GPA 制度も交換留学生に適用するなど、大学全体として蓄積してきた国際交流の実績とノウハウが有効に活用されている。さらに、英語による学士課程プログラムの関連科目群を加えることにより、AIMS プログラムで指定されている 10 分野を網羅し、受入学生の専門分野や興味に幅広く対応する教育体制が敷かれたと言える。</p> <p>全学的な支援の下で、受入学生に魅力ある科目を提供するためにインターンシップを演習科目に組み込むなどの工夫も成されている。学生の相互交流を促進するために春・秋2学期6モジュール制等を活用し、交流する複数の相手大学ごとに異なる学年暦について柔軟な対応が成されたことから、派遣学生数、受入学生数ともに計画を上回る成果を挙げた点は高く評価できる。本プログラムの成果は、今後も国際交流を行っていくにあたって有益であることから、広く公開していくことが期待される。</p> <p>一方で、交流協定を締結している米国のコーネル大学や国連大学等からの助言を基にプログラムの自己評価や改善を実施していることから、引き続き不断の努力に期待したい。</p> <p>最後に、本事業による補助期間は終了したが、引き続き質の保証を伴う発展的な事業展開によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与していくことが期待される。</p>